



## 【世界糖尿病デーイベント】

平成30年11月12日～16日

自衛隊札幌病院（病院長：大鹿陸将）は、平成30年11月12日（月）から16日（金）までの間、「世界糖尿病デーイベント」を開催しました。

本イベントは、当院通院中の患者や近傍駐屯地の隊員及びその家族等に対して、**糖尿病に関する健康教育や血糖値測定体験等により「糖尿病の予防」及び「疾病の理解促進」を行うことにより、駐屯地及び部隊における隊員の「健康管理の意識向上」を図ることを目的**として、インスリン発見者フレデリック・バンティングの誕生日（14日）に由来する国際デーに因んで行われました。

期間中、自衛隊札幌病院のエンブレムに世界糖尿病デーのシンボルである「ブルーサークル」を装飾した1階エントランスホールにおいて、DVD上映、教育ポスター掲示及びパンフレット配布などを行い、糖尿病と食生活との関連・合併症などについての啓発活動を実施するとともに、2階外来待合スペースでは受診待ちの患者に対する糖尿病教育を開催した。また、**13日（火）札幌駐屯地厚生センター及び16日（金）真駒内駐屯地西厚生センターにおいて「血糖値測定コーナー」を臨時設置し、訪れた隊員等約100名の血糖値を測定し個々の測定値に応じたアドバイス**を実施して、糖尿病に対する認識を深めることができました。



来院者に対する説明



外来待合における糖尿病教育



外来待合における糖尿病教育



「血糖値測定」コーナー（札幌駐屯地厚生センター）



「血糖値測定」コーナー（真駒内駐屯地西厚生センター）